

(様式1)

校 種	小 ・ 中 どちらかに○	学校番号	2 2	学校名	宇都宮市立上河内中学校
-----	-----------------	------	-----	-----	-------------

令和2年度 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

人間尊重の理念を基調とし、豊かな情操を備え、社会の変化に向き合いながら、常に目標を持ち、自ら学ぶ意欲を持ち続け、他と協働して粘り強く物事に取り組む心身ともに健康な生徒を育成する。

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

校 是 よく学びよく鍛えよ

☆ めざす生徒像

- ・ 学び鍛える生徒
- ・ 自他を尊ぶ生徒
- ・ 気力あふれる生徒

☆ めざす教師像

- ・ 愛と情熱にあふれる教師
- ・ 研きあう教師
- ・ 実践する教師

☆ めざす学校像

- ・ 楽しく学びあえる学校
- ・ 協に伸びる学校
- ・ 信頼される学校

2 学校経営の理念

(1) 個に応じた教育を進めながら、生徒が生涯にわたって社会の変化に対応し、成長し続けることができるように、その基盤となる「知」・「徳」・「体」のバランスのとれた力の育成に努める。

(2) 全教職員が使命感と意欲をもって学校経営に参画し、教育課程の具現化に取り組むことで生徒・保護者・地域の信頼や期待に応え、地域とともにある学校づくりに努める。

3 学校経営の方針

[上河内地域学校園教育ビジョン]

かしこく、たくましいゆずっ子の育成
～ 基本を身に付け、人とつながり、夢に向かって生きる子どもを育てよう ～

(1) 「確かな学力」を育むことをめざして

- ① 学力調査等を活用した現状分析と改善策の検討並びに実践
- ② 習熟度別学習等による生徒の実状に即した指導・支援の推進
- ③ 家庭学習の習慣化と充実に向けた指導の徹底

(2) 「豊かな心」を育むことをめざして

- ① 道徳科を核とした心の教育の充実
- ② 体験活動や読書活動を通しての豊かな感性の育成
- ③ 行事や係活動等を通しての自己有用感や自己肯定感の涵養
- ④ ボランティア活動や他と協働しながらの活動による「他者を思いやる心」の育成

(3) 「健康で安全な生活を実現する力」を育むことをめざして

- ① 健康診断や新体力テスト等による現状把握と改善に向けた取組の推進
- ② 食育や保健指導の更なる充実と推進
- ③ 進んで運動に取り組む環境づくりの推進

(4) 「未来を生き抜く力」を養うことをめざして

- ① 社会の動きに対しての興味・関心の喚起及び情報提供の促進
- ② 地域の教育力活用と生徒の地域行事への積極的参加の推進

- (5) 「教職員の資質・能力」と「学校のチーム力」の向上をめざして
 - ① O J T・研修等を通しての教師の授業力向上に向けた取組の継続
 - ② 情報共有の推進と共通理解・同一步調による指導の充実
 - ③ 「働き方改革」を意識した勤務時間管理の推進
 - ④ 業務適正化（効率化・簡略化・削減）の推進
- (6) 小中一貫教育と地域学校園の取組の充実をめざして
 - ① 前年度に地域学校園として作成した小中一貫カリキュラムの確実な実践
 - ② 発達段階に応じた小中一貫による学業指導の充実

4 教育課程編成の方針

- (1) 基本方針

教育基本法，学校教育法にのっとり，新学習指導要領に基づきながら，上河内地域のある種独特の地域性や学校の実態及び生徒の心身の発達段階や特性を考慮して編成を行う。
- (2) 留意点
 - ① 学校の教育目標や「めざす生徒像」，各教科の目標・ねらいとの整合性を図る。
 - ② 社会とのつながりを重視し，「社会に開かれた教育課程」の実現をめざす。
 - ③ 学習指導要領で示されている各教科等の内容の指導に支障のないように適切な授業時数を確保する。
 - ④ 「総合的な学習の時間」発表会（11月の最終土曜日を予定）に向けて，「総合的な学習の時間」の特色を踏まえた教科横断的な視点に立った追究活動の推進や発表をめざした学習を進める。
 - ⑤ 学校評価との関連付けを図り，P D C Aサイクルを機能させたカリキュラムマネジメントを行う。

5 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

- (1) 学校運営
 - ① 生徒一人一人を大切に，個に応じた指導・支援の推進
 - ② 安全面も含め，「学ぶ場」としての学校の環境整備の推進
 - ③ いじめの根絶に向けた取組の推進と不登校対策の充実
 - ④ 「地域とともにある学校」づくりをめざし，地域と連携・協働した取組の充実・推進
 - ⑤ 業務の適正化推進による教職員の負担軽減と超過勤務時間の縮減
- (2) 学習指導
 - ① 確かな学力を身に付けさせるための授業展開や学習活動の工夫
 - ② 家庭学習の習慣化とその充実に向けた指導・支援の強化
 - ③ 地域学校園としての学習ルール指導を中心とした学業指導の充実による「学びに向かう集団」づくりの推進
- (3) 児童生徒指導
 - ① 基本的な生活習慣を身に付け，高い規範意識に基づき行動する生徒の育成
 - ② 生徒指導部会や教育相談・特別支援教育部会を中心とした組織的な対応
 - ③ 体験活動・読書活動，さらには道徳科の授業等を通しての「宮っ子心の教育」の推進
- (4) 健康（体力・保健・食・安全）
 - ① 給食や食農体験等の充実による地域の特色を生かした食育の推進
 - ② 検診結果を踏まえた地域学校園として連携した歯科保健指導の充実
 - ③ 地域学校園の小中一貫カリキュラムを踏まえた運動生活の習慣化

6 学習指導，児童生徒指導，健康（体力・保健・食・安全）に関する取組

※ 様式2～4参照

7 特色ある学校づくり等に関する取組

(1) 育てたい資質・能力

- ①基礎・基本を習得し、人となつがり、自らの考えを伝え・表現する力
- ②自らの可能性を信じ、自己実現に向かって粘り強く取り組む「たくましさ」
- ③豊かな感受性を備え、他を思いやる心
- ④主体的に活動に取り組む気力とそれを支える体力
- ⑤地域の一員としての自覚と地域への愛情を持ち、地域に貢献しようとする意欲

(2) 具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇）

- ①習熟度別学習等の少人数指導の充実を核とした教科指導の充実
- ◇②話し合い・発表等の活動を取り入れ、表現する力を育成する学習活動の工夫
- ③総合的な学習成果発表会の実施や短学活におけるスピーチの実施
- ◇④自己有用感・自己肯定感を実感させる学校行事・学級活動等の工夫
- ⑤豊かな心の育成をめざした道徳の授業の充実や読書活動の推進
- ◇⑥校内の美化や施設整備も含めた学習環境の整備
- ◇⑦文化祭や3年生を送る会などの行事や委員会活動等の生徒会活動の活性化
- ⑧地域人材の活用及び地域行事への生徒の積極的参加の推進

8 本市の重点施策・事業との関連

(1) 地域とともにある学校づくり（「魅力ある学校づくり協議会」との連携・協働を含む）

①基本的考え

旧河内町としての伝統や歴史もあり、他地域とは異なる独特の地域性がある。そこで、地域の特性を尊重しながら、市全体の動きを組み込んでいくことで、地域を愛し、将来、地域を担っていくような生徒の育成をめざす。

②主な取組

- ア 関白獅子舞や梵天祭などの地域の伝統的行事と結びつけた活動の実施
- イ 「ふれあい祭り」・「福祉イベント」・「地区体育祭」などの地域行事への生徒の参加及びボランティアとしての協力の推進
- ウ 「学校だより」の発行と地域への配付、ホームページの活用等による積極的な情報発信

(2) 小中一貫教育・地域学校園

①基本的考え

生徒は小学校6か年を単学級や2学級で生活して本校に入学してくる。そのため、人間関係力や表現力が十分に育っていない者も見られる。そこで、小中の9年間を通して、児童生徒の学力、体力、人間力の向上を図る。さらに、各種の学習状況調査等の結果が、市の平均よりも低いことに対して、学力向上に向けた取組に力を入れる。

②主な取組

- ア 平成30年度に作成した小中一貫カリキュラムの着実な実施と改善点の検討
- イ 地域学校園としての「学習ルール」の徹底による「学びに向かう」集団づくりの推進
- ウ 学校行事等における小中学生の交流活動の推進

(3) 不登校対策

①基本的考え

交友関係のトラブルに起因する不登校の場合、学級数が少ないためクラス替えなどの対応は困難である。このことを踏まえ、そのような不登校を出さないために、日ごろから学級の人間関係に気を配り、「居心地のよい学級・学校」、「居がいのある学級・学級」づくりをめざし、新たな不登校を生み出さない。

②主な取組

- ア 生徒が自己有用感や自己肯定感を持てるような「認める指導・支援」の推進
- イ 「Q-U検査」や学校独自の「いやなことアンケート」の実施と結果の有効活用
- ウ 教育相談の充実と情報共有の推進
- エ スクールカウンセラーやメンタルサポーター、関係機関との連携と活用